

アナフィラキシーの徴候と症状

アナフィラキシー (an-a-fi-LAK-sis) は、すぐに起こり、生命を脅かす可能性のある重篤なアレルギー反応です。
最も一般的なアナフィラキシー反応は、食物、毒物、薬物、ラテックスに対するものである。

アナフィラキシーの徴候および症状は、アレルゲンに暴露された後に単独で (*)、または組み合わせて起こることがある：

口：
口唇、舌、口蓋のか
ゆみ、ヒリヒリ感、
腫れ

*喉：
嘔声、喉のつかえ、難聴
嚔下、ハックするような咳、
喘鳴(息を吸うときに大き
な甲高いする)

*肺：
喘鳴、咳、胸の痛み、
締め付け感

だ：
腹痛、吐き気、嘔吐、
下痢

中枢神経系/脳：
不安、パニック、
運命感

目/鼻：
鼻水、鼻づまり、
くしゃみ、充血
した目、
目のかゆみ、
目の腫れ

皮：
じんましんなどの
発疹、発赤・潮紅、
かゆみ、腫れ

*循環/心臓：
胸痛、低血圧、脈が弱
い、ショック、青白い色、
めまいや失神、無気力
(元気がない)

* 緊急かつ生命を脅かす可能性のある症状

正確な診断と管理のために、認定アレルギー専門医に相談すること。

アナフィラキシーを経験した人の大部分は皮膚症状を示すが、最も重症の症例の中には、発疹、じんましん、腫れを伴わないものもある。

EPINEPHRINEはアナフィラキシーの第一選択薬です。

抗ヒスタミン薬、吸入薬、その他の治療薬は、二次治療としてのみ使用すべきである。

エピネフリン注射器を常に2個携帯する。

あなた自身、またはあなたの知人に症状が出始めたら、直ちに9-1-1へ通報してください！



認識・擁護・教育

食物アレルギー啓発.org

食物アレルギー
啓発の声